



る知を會機の其てし讀再を況商の此は店品粧化の明文

良きか
入るが
何程仕
洗粉は
クラブ
の交換

新開記者著本が鋪作れ洗粉况商

總ての商店が婦人と男子に向て販賣せらるゝクラブ洗粉を都會に於て假りに一日間(十時間業)にして此の全部は六百個の瓶と袋を陳列するも、一日間(十時間業)にして此の全部は日本銀行の小さき紙と交換し盡す。

所以、總ての代理店が舉て空前なる化粧品店は斯く驚く可き。クラブ洗粉の注文と賣行に對し常に百打以上の準備を要す。

總ての賣行と大流行の速度クラブ洗粉の如きは未だ曾て其比を見ず。總ての化粧品問屋として東京の有力にして信用ある大和屋佐々木脇田、柳下、花王堂、松井號、三越、森本、坂口等はクラブ洗粉の取扱いを極める。



組合錄事

○六月二十一日 組合新加盟店者
營業所 日本橋區村松町十三番地
氏 名 山田一良君
右新規加盟店せられたるを以て組合員名簿へ
登録す
○同二十一日 東京動植物博覽會事務所委員
より来る二十五日博覽會委員出品委員並に
出品人有志者の懇親會開會の旨通知あつた
るを以て出品人へ其旨通知す
○同日 農商務大臣へ清國商標の件に關し
左の伺書を提出す
清國政府商標登録の件に付伺
明治三十七年一月以來本組合員より數回
に清國政府へ出願致候商標拾取件に對し
今に至るも尙同國政府より何等登録の通
知に接せず右は果して如何なる事由に有
之候致怪訝の至りに堪へず候右出願は明
治三十六年中協定せられたる追加日清條
約に基き出願したるもの候へば同國政
府が速に之を登録し完全に保護の途を啓
くべきは國際條約上當然の義務かと被有
候然るに四星霜の長きを経たる今日に至
りても尙該規則の實行を見ざる爲め右出
願商標は権利として清國市場に存在する
如き現状に有之候然れども其侵害者に對
して何等求償の道なく空しく商標の使用
を見合すの外なく延て輸出貿易を阻礙し
て其發達を妨ぐる次第に御座候今尙謂
れなく同國政府が該規則を實施せられざ
るに於ては該追加條約は徒に空文に歸せ
ざるや憂慮の至りに堪へず候くば荷國
市場の實況及對清貿易業者の微衷御察覺
の上同國政府をして一日も速に該規則を
實施せしめ商標權の確立を得候様御交渉
相成度此段御伺旁聴請仕候也
明治四十年六月二十一日

明治四十年六月二十一日
東京商業會議所
日本橋區馬喰町二十九
東京小間物化粧品卸商
組合事務所御中

W. Staempfli,
Naples, 1st Decbr. 1906
Via Mignocavallo 22

Gentlemen,
Since the coral fishery in Italy has been exhausted, rough corals of Japan are most required here.

In Naples, Torre del Greco, Leghorn, Granat there are a great many manufacturers of coral articles, who buy now only Japanese rough corals.

The purchase in Italy is very important and it is now made second hand, as Japanese coral sellers very seldom send directly to the consumers.

If Japanese Export houses resolved to sell corals through the medium of an Agent, directly to all manufacturers here, they would do a paying business, getting much more advantageous prices than by selling to the eager commission firms.

To do so they want a well connected and honest Agent and as I possess these qualifications, I should like to get corals on consignment, as I am in a position to assure a large and safe business, and to secure very favourable prices.

You would much oblige me by advising those firms, which are willing to deal in corals, about the matter, giving them my address.

Trusting to be honoured by a favourable answer,

I remain, Dear Sirs,
Respectfully yours,
W. Staempfli.

References :
Chamber of Commerce Naples,
General Consulate of Switzerland, Naples,
And any bank or banker in Naples.

右の趣意を照證すれば左の通り付本組合員諸氏はより御希望の方は先方へ直接御照會せらるべし
伊太利にては日本生地珊瑚を要求しえーネス、ターレーテルタレロ、セノア等は該品の業者多て購買力非常なるもの下直接交渉の日本商社甚だ稀にして間接のみ取引せらる若し日本輸出業者にして直接取引せられんには彼等は十分に発力して貪婪なる仲介商の手に依るより多く多大の利益を得し依て拙者は相當の資格者を紹介すべければ珊瑚の販賣委託を得たし

伊國ネーブルス市ヌターンブライ同市に就てはネーブルス市商業會所、在ネーブルス市瑞西貿易事務並に在ネーブルス市の總ての銀行又は銀行業者の證明する所なり

○同日 東京實業組合議會より左の通り

日本橋四丁目なる井筒屋香油店にてはハサ代、エヌ等の香油、奶油の好評なるに更に香油あつ、油すみれといふを發賣したりといふが油には好評ある同店のことなれば香氣に於ても實質に於ても定めし好評を博して同品界に飛揚するに至るべし。

號二十一百四第

大勸強廣告



石鹼
廉低格價 保永香芳
目丁三町石本 (元賣發) 区格
衛兵太上井

○すみれ白粉は益々愛顧諸君
針を探り弊店獨特の化粧品
行せる最新香料を加へ配
く能く頬膚を艶美ならし
馥郁として長時間保続す
て衛生上有効の逸品なり

THE BEST MADE
SUMIRE
VIOLET PASTE

An advertisement for Sumire Washing Powder. The top half features a large, ornate illustration of a rectangular tin can with a decorative floral pattern and the brand name 'SUMIRE' embossed on it. The lid of the can is shown separately above, also with the brand name. Below the illustration, the text reads 'SUMIRE WASHING POWDER' in English, followed by 'ひらら あふみ 美壽' in Japanese. The bottom half contains descriptive text in Japanese, stating that the powder is made from special ingredients like camellia oil and is used for washing hair and skin. It also mentions that it is suitable for both men and women. The overall layout is formal and typical of early 20th-century advertisements.

製造本舗 伊勢吉壽美禮堂三哩製
日本祐宗本石町 東京
同區龍藏町 同區龍藏町 井上太兵衛
同久右衛門町 一丁目 堀井長兵衛
萬魚忠金兵衛 同播磨町 三丁目 丸善商店
同周映町 三丁目 田中花五郎 同播磨町 三丁目 大和屋小兵衛
同周映町 三丁目 武井龍三 同播磨銀座 一丁目
同播磨町 三丁目 山田盛宣堂 同木橋銀町 一丁目
同播磨町 三丁目 柳下藤五郎 同大佛町 二丁目 近江屋源七
同播磨町 三丁目 佐々木善兵衛 同見屋善兵衛
同周映町 二丁目 平尾 賽平

號二十一百四第

(六)



本舗

●東京博覽會紀念發賣●



の陳列で、棚にリボンの各種を積み並べた上に、下にさほど積み並べて、一目の下に商品の全部を覗得らるゝやうにしてあるので、意匠としては解し難いが、併しX君は之を評して「君等には解らぬ意匠が含まれて居る、これが解らんやうでは、連が出しません」と批評は出来ないよと、飛んだ攻撃を喰つたので、オヤ／＼飛だ御災難に逢つたものだと思つて、次をへゝ急き立つた、その次は既に見たので、

態度なべて、直ちにその躊躇の
の陳列を窺ふと、臺の上に花籠を置き、そ
の上に開花香油の大きな瓶を据へ、上方の
釣棚に開花香水の大瓶を並べ、下には開花
香油、開花ムスク石鹼などを陳列してある
のは、潔潔くない、奇麗な意匠である。X
君も少しは氣に入つたといふ風に「この陳
列なかくに趣きがあつてよろしい木」と
評して居た、次が

博覽會めぐり(二の五)

A black and white illustration of a person standing and blowing into a large brass instrument, likely a horn or trumpet. The person is wearing a dark tunic and breeches.

互に花を咲かせる。白百合の花を墨々配置する
の花の間に商品の白ゆり・白粉や白ゆり・水を
陳列してある。殊に下方に大瓶を置いたの
は、大に目立つてよく、白ゆりおしろいの
説明は遺憾なくせられて居る。X君は説く
て「販賣で興ゆかしいのは、一に百合の開
合が宜しきを得て居るからであらう、それ
に商品の白ゆりとは、よくも調和がとれた
ものである」といつて袋めて居た、その次
には、井手氏に面した

自の商品を程よく配列してあるから、少しでも區々の點がなく、調和がよくとれて居る。上に、袖氏の造花は、この一間の裝飾用として採用せられるので、殊に美しく見られた。

X君は之を評して、「よく共同して意匠を凝したものである、共同出陳の妙所は、こんな過から悟らせねば贋だ」といつて極力賞讃の辭を發してた、その次が

井手守五郎氏の陳列で、東側の角にある、藤棚の下に陳

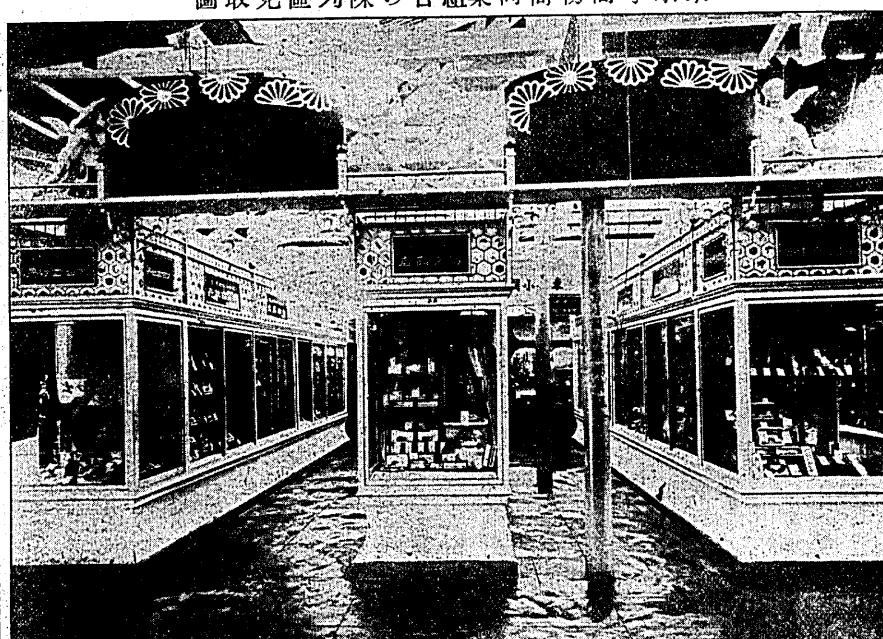
「人毎に足を止めて凝視めるのも無理のな
いことだ。X君は個好の意匠、美しい装飾
で、思はず商品の購買心を起さしむる力が
ある」とひつて評した、次が

花見の園ひに見立て、櫻花をかざして商ひ
名を姫船に認めて下げ、宛然照耀の光景を
見立てたのに、トランスク、玉蘭、鶴の胸
などの商品を配列してあるので、人目を惹
く外に、一種の懷かしい趣を起させる。仁

明治十四年一月一日

治明 (可認物便郵種三第)

のは、商號の柳屋に當てはまつて、よく人の目に付いた、その商品の現季油、柳清香などを、何處までよく配賣した陳列振りは、なか／＼入手のものである。X君は之を評して、「よく商號と商品を説明した意匠である、殊に故事に興味あるところに、教訓の含まれ居るだけ、移して化粧の装飾を實することができ、いかに醸成も、道風ある」といつた



上です。紹介で於に號次は等匠意の陳出各

の、洒脱とした陳列になつて居る。X君は之を語して「奥底深いやうな大様な陳列である」とつた。次に井戸氏に隣りした北側の内側の角にある、外也五郎三郎氏の招物で如くに、然らず極めて化粧をすれば、必ず美人になれるぞよといはぬばかりの意匠である。とつたのは、X君にはらしくお褒めの詞と思つた、その隣りの牛戸氏は見たりで、次の

The image consists of three vertical panels from a Japanese newspaper, each featuring a different cosmetic product.

- Left Panel:** An illustration of a woman applying cream to her face. The text reads:

ムーリク用粧化印シワ
(七小錢十中錢廿大錢)
號井松貢東大元寶發
- Middle Panel:** An illustration of a woman holding a bottle of perfume. The text reads:

白の承く保つ事
麝香とスミレの合劑
ブーケムスク香水
- Right Panel:** An illustration of a woman wearing a white headband and a large white flower. The text reads:

花王石鹼は
化粧、衛生、經濟を
兼備せし家庭用石
鹼として夙に高評
を博しつゝあり

Bottom Center: Text identifying the manufacturer:

萬京本店
目丁四町喰馬
磨印マガ
所造製工社
長瀬東京
馬富
舗喰馬
製郎

衛生に適する化粧品



優其他的舞臺用には固煙製の「樂屋用」
水製
御園白粉
金二十五錢入
薄化粧に用ひ純白と淡紅色との二種あつ
はねり製と少しも異りません
粉製
御園白粉
紙包金五十
純白と淡紅色との二種でねり製や水
用ひた上へ刷毛で刷きつけて顔直しに用
は洋風化粧の仕方は先づ掌へ「御園の茶
少量取つて顔と襟へ極薄く塗つて柔かなかな
柔かい布か紙で軽く拭くのです。これは甚
最も進歩した化粧
法であります。
特
製
御園
舊
金甘
金五拾
錢
濃化粧専用
錫入金拾錢
本邦人の皮膚に適
應する特効ある藥
品のみを以て調和して精製した「クレー
モ生毛の一ぱいに生へて居る西洋人の便
いや。それを模造して油で塗へたクリ
品とは全く其性質を異にした肌理を濃やかに
白粉の附着を能くする。無類特種の白粉
あります。
打白粉
御園撫子
金拾
錢
紙
包
御化粧水
高貴
御園
舊
金十五
錢
大壇金五十
錢



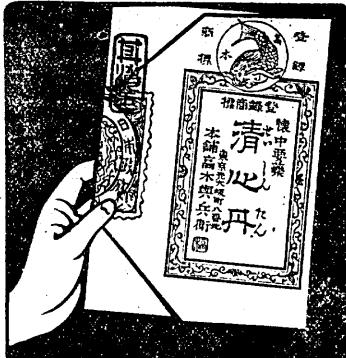
製造元

東京莊園堂



新製都美人おしろい

右精實ナヒトシ薄利ヲ以テ販賣
時計クサリ一式○
致ベク候日本橋區通鑑町四番地
煙管問屋伊藤大太郎



西洋と東洋
——たび足を西洋に入れて、その文明を觀れば、取りて以て我が範となすべきもの多々にして、東洋新進の國が長足の進歩を遂げて、出藍の譽れ高く其の上に傳播せらるゝとも、嗚呼及ばざること遠しかとの嘆聲を發すると禁め得ず、日本の眞價尙ほ未だ高からざるを覺ゆるも、去つて東洋諸國をして、眞個東洋の主導者たるべき任務負する壯育化するの至當なるを知り、西洋に於て發せし嘆聲は、東洋に於て生れるを得ざりき。

請ふ看よ西洋の文明を、殊にその物質上に於て、技巧に於て、尙ほ遠く及ばざるもの多きにあらずや、比して自から省みれば、衷心實に忸怩たるてとを得ざるなり、而かもうりて東洋に入らんか、一國の名は存するも、一國の實ありて、國家の命を存するもの幾何ある、子をして接めて東洋諸國を巡観せしめよ。

支那文明を日本に輸入したる仲介者として最も古き關係を有する韓國はいかん、本組合理事小林富太郎君は蓋に試水の觀察を送りて業務の擔任を行はせられ、更に清海印度等の東洋諸國を觀察せられて、既にその商店を天津漢口に開かれ、一意その自家營業發展を期するに、本邦の營業海外を擴張せらるゝあり、茲に去月三日その旅費として歸朝せらるゝや、記者は訪て觀察談を詰ひ素用申に精細の觀察、審査の要領を教わる所を取し及ぼざるも、いかんと深淵の眞理を感服し及ばざる點多く、記して異を君に及ばんことを恐れ、大要を摘要して巡遊所感と題して、これを揚げぬ。

本組合理事 小林富太郎君
巡遊所感 (上)
支那文明を日本に輸入したる仲介者として最も古き關係を有する韓國はいかん、本組合理事小林富太郎君は蓋に試水の觀察を送りて業務の擔任を行はせられ、更に清海印度等の東洋諸國を觀察せられて、既にその商店を天津漢口に開かれ、一意その自家營業發展を期するに、本邦の營業海外を擴張せらるゝあり、茲に去月三日その旅費として歸朝せらるゝや、記者は訪て觀察談を詰ひ素用申に精細の觀察、審査の要領を教わる所を取し及ぼざるも、いかんと深淵の眞理を感服し及ばざる點多く、記して異を君に及ばんことを恐れ、大要を摘要して巡遊所感と題して、これを揚げぬ。



韓國

緊急公告

店員二 每月

一日ノ休暇

ヲ強ユルハ今

日ノ急務ナリ

何方故ニ直
二断行セザ
ル人アリヤ

香界水の大製國佛
王霸の評高

一日ノ休暇

ノ評高

香界水の大製國佛

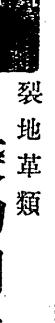
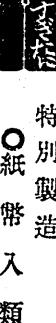
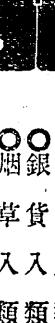
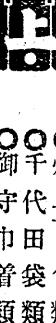
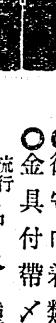
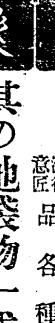
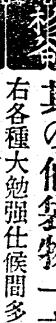
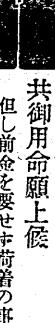
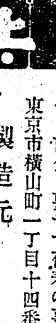
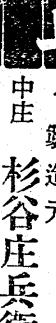
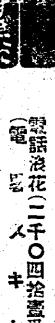
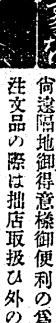
王霸の評高

香界

特約 東京化粧品卸商店各店



粧へば富嶽の雪を凌ぎ



袋物問屋

歐米巡遊

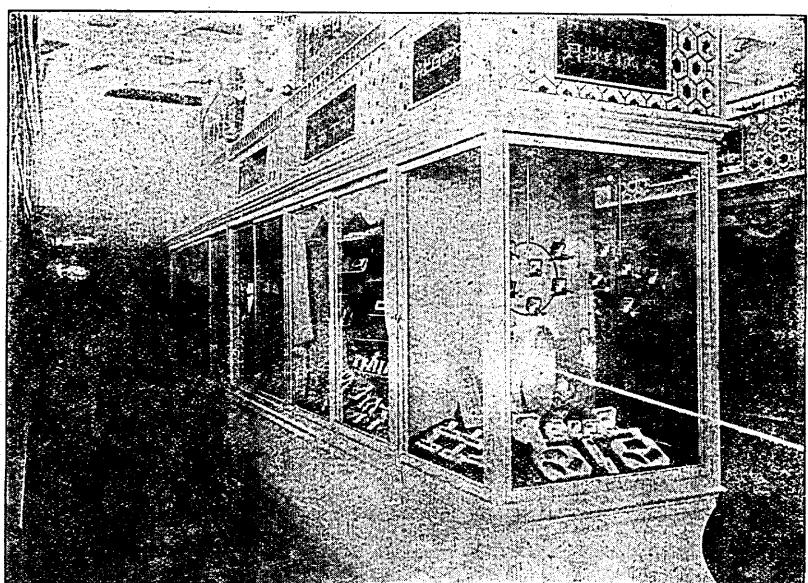
英國概觀 (下)
佐々木玄兵衛君談

英國の鐵道の急行列車には、一の特別な設備がせられてあつて、一列車が或數から成つて居る、その最終の一車は、停車するだけの價値のない途中驛で、その列車の停路がありますから、列車内に設置には衣服

まで百九十九哩餘の處を、僅か三時間で走りますが、中途では一回も停車しません、平均一時間に六十六哩餘の速力です。

會社の設備は、急行列車の爲めに特別の線路がありますから、列車内に設置には衣服

東京小間業組合の出陳區



しへすに於て次號等の意匠に於て紹介して貰ふ

天狗印商品課目

メリヤス類一式

アミシヤツ類一式

縮シヤツ類一式

沓下サル又

手袋エツ

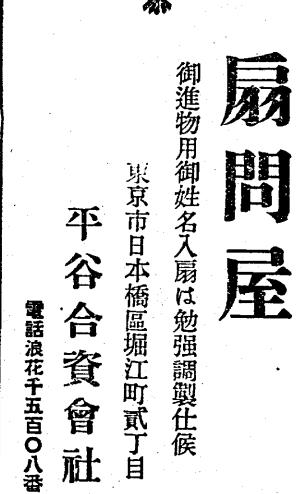
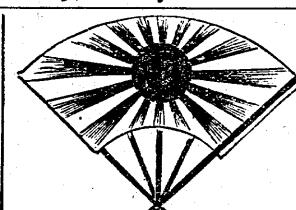
兵兒帶綿

寝具胴

右誠實を以て大勉強仕候

森田商會

東京市日本橋區横山町武丁目角

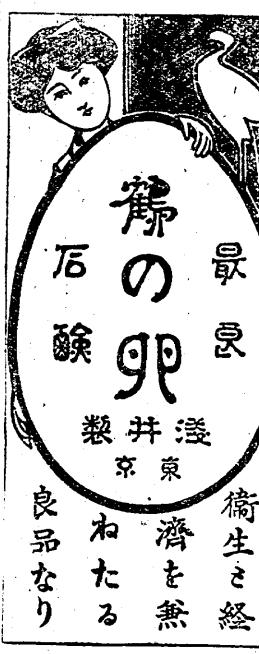


扇問屋

平谷合資會社
電話浪花千五百〇八番

御進用御姓名入扇は強調製仕候

東京市日本橋區堀江町貳丁目



最良品
石鶴
井京
濟生を兼ね
良品なり

高木六太郎

製藥瓶
正宗瓶
靴墨瓶
丸瓶
本瓶
其他
斜瓶
文次第青色
黑色
白
玻璃各種
色
硝子
管
器
洋酒瓶
牛乳瓶
薑藥瓶
小器
械瓶
瓶子
需要
之
附屬品
販賣
點眼
膏瓶
瓶

車しない市に行くことの指示札があります
が、之に旅客が乗つて、停車しない駅まで
行くものがあります、列車は進行してその
駅に停車しませんが、その駅に行きます
と、その駅の車が自動的に列車から離れ
るので、他には見ることの出来ない装置で
あります。
又、英國の急行列車には、速力を増す爲
めに、線路の間に水溜を作つて、機関車の
服するのです、その一例として、英國の鐵

陸啓益す御隆盛欣賀之至奉存候隨而整店儀每に厚く
殊に化粧品部類の如き斬新の流行に伴はざれば顧客
の需好を充たす能はすと存候に付從來の香油ハ千
外更に今般(ゆつ)油(ゆ)と稱し候一種の香油代用
と新製仕香料の優等なるは勿論容器粧飾等尤も意匠
を凝らし候品に付何卒御盡力を以て販路擴張相成候
様仕度從來に倍し御注文御取引之程伏而奉承候先は
新製品發賣之儀奉得貴意候也敬具

のであらうと信じます。

そこで英國の國民道德の方面に觀りりますと、いかにも道徳的程度が高いために敬

すと、いかにも道徳的程度が高いために敬

號二十一百四第

御
料

製造元工友公司會
總賣處東橫町股田盛真堂
全國獨創且

から、自然と信用も高まらず、心地好からし
むるものでめらうかと思ひます。故に米國
に於ける今回の事件の如きも、曲は固より
彼に在るとするも、在米同胞のいかなる階
級に成り、伊太利、奥地利、匈牙利、及び日
本、伊太利、奥地利、匈牙利、及び日本、
は引れも千人以上に就き二十三人以上の出產
を有す死亡率の最も少なきは丁抹にして
人に成り一六、五人なり。

支本舗 営國堂
大坂町二丁目
東方屋
山崎榮三
山崎兄弟商店
有化粧品店に於て
販賣到處の
櫛高麗

瓦石礫

此名題洗粉は皆々様の御引立に依り益々成るに相成難有仕合に奉る候然に近來諸君に名題洗粉の摸造品澤山顯はれ候に付弊害甚だ此製品は袋の裏面に本物の

高評を博せる優等品
發賣 東京 菊盛堂

ムスク香油


世ノ新陣ノ伴ニ男女化粧法等モ稍々改進セリ不括單頭髮用香油トシテホダ完全タルモノナク其多クハ同僚異名シテ各々得失短長俱ケザルナキヲ遺憾トレ入シケ且シガ研究塔ノシタニ適々斯當ニ冠名佛國某製造會社ノ特製ノ係レ然カモ最良植物性魚油ヲ擇擇シ得タレバ更ニ毛髮ノ攝養上肝血ヤナルクロエラ施シ尚優等芳香ヲ如味セシム以テ迄ノ香水ニシテ爾來高評ヲ博セルムスク香水ニシテムスク香油ヲ發賣セリ左ハ本品ハ男女共用シテ常ニ身心ヲ佳快ナラシシモ且モ髪髮ノ對象ノ總帶ノ販賣レタ免カレシムルニ足シ良品ナリ

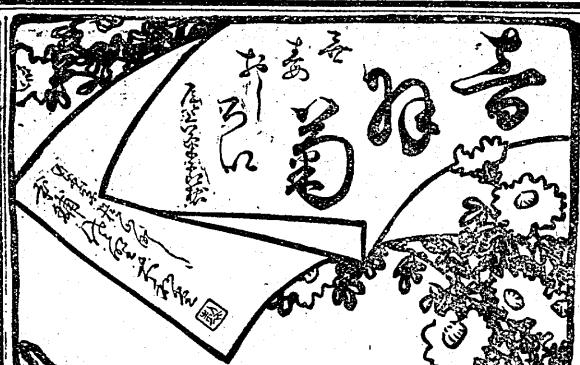
尙ホ本品ノ品質ヲ明カニシムニ爲内務省衛生試験所所長試驗證明シ乞ヒ

東京衛生試験所
所長
衛生試験所及子 湘川松郎印

本品之主成分系天然植物油也其成分为
植物油之混合物中之主要成分有
木脂素、木脂酸、木脂醇等之類
並含有若干有害杂质之類
明治廿年五月一日

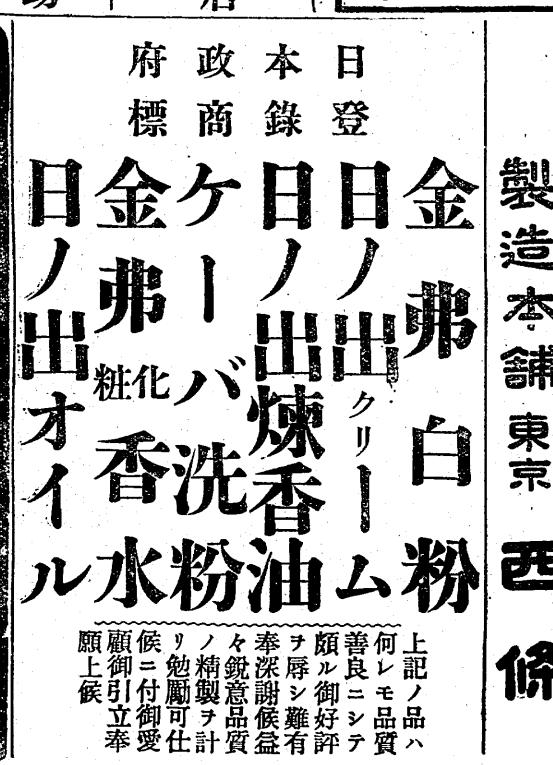
本品之主成分系天然植物油也其成分为
植物油之混合物中之主要成分有
木脂素、木脂酸、木脂醇等之類
並含有若干有害杂质之類
明治廿年五月一日

東京日本橋區本石町四丁目
ムスク香水 芳香藥種貿易商
ホーサン石鹼 本舗 松澤常吉化粧品部
長電結本局百四十五番



本銀。洋白。鋼鑄。問
指環。根掛類。問
髮飾。附屬品。屋

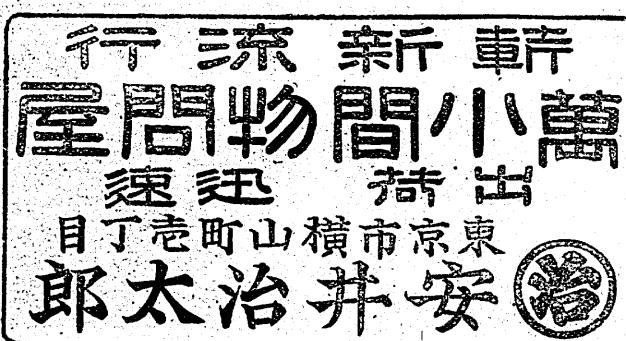
新十郎 同印
日本福島郡町 四丁目十七
大和屋號





新嘉坡
羊々々々
香港
新嘉坡

——
正月堂開水清月鬼石鹼本舗
東京日本原稿目丁二町山横
——



開花ムスク石鹼



元歐米風美術寫生造形
特裝飾用フラーーモール
東京市淺草區三好町壹番地
製造販賣元萬至田中商店

である。『元重寶記』によれば、『聖帝御法』と呼ぶ古い書物に、一人の面前に出る時は前掛を取り去るに心付けよ。云々と記してある前に記した通り我國の前掛は己が不淨を避くるのではない、物の前掛を離ぐのみとつて、全く意味を争はない證據であらう。

暦、元禄年間出版の浮世絵には、腰の女が赤前垂を締て居る圖がよくある。古くから前掛の行はれたのは京阪地方で江戸は其後行はれたに相違ないのである、京事につつしい京阪者の性來として、衣服の汚れを氣支つて纏つたのが漸次と他の地方に傳播したことは、京の赤前垂に對して、関東は紺袴を用ひたのに従つても明らかである。許りでなく、此事は三才圖會にも見え其他種々の草子にも記されてゐれないのであることは江戸名所圖會によつて見るたるものである。

ので、男子が之を纏ひたのは古くは認めなかつたうな。けれど「京物語」天明元年中本に「商人すべて前垂をかける」云々とも江戸では文化天保の頃には誰彼の差別なく、武家の脛々を除く外助人は皆、少なく、何れも之を締て怪む者もなければ武家など其家の中では之を着けて居た者大部分あつて、たゞ外出の折には必ず取外してのことである。要するに前掛は町人に限つて用ひたものであることは江戸名所圖會によつて見るたるものである。

にて候へば侯之を憐み玉へやと申けるに俟てはじめて悟る所ありける其後前垂を廢に舞へるものを見ては彼れは憐れなる町人よなと仰せられて愛憐の情漸く深かりけりされば庶人恐れて是より前垂を離てず遂には武士浪士の女房娘に至るまで一時に之を繩ふに至れりとなん。これは古く口碑に傳はつて今に人が知て居ることである、此事案より封内に止まつて考證とするには狹いかも知れないが、明前掛と言へば重に婦女子ばかり用ゐたて前掛と言へば重に婦女子ばかり用ゐたて

大泄では、諸國の商人爰に集ひぬ、上問現象を呈して、貿易の娘などは唐縮緬、屋下問屋政をしらず、客馳走のために、蓮葉女といふものを折へ置きぬ、是は厭炊女の見よばなるが、下に薄綿の小袖に紺染の無紋に黒き大幅幅、赤前だれ、吹簫の京かのうがひ伽羅の油にかためて、細綿の雪駄延のは女紙をみせかけ、其身持かくれなく、面の皮をつくして人中を恐れず云々

昔越後侯狂暴殺を嗜む侍臣交々諫ひれども聽かず他日從容説て曰く彼の前垂を腰に拂ひ而して道を行くものは離れなる町人道

店

稜は二の次にして女縫縮緬、羽二重、綾と織澤の品を選び、費途を省まなくなつて、經濟主義の崩掛は何時とはなしに服飾のと繋つて、實用と裝飾とを兼るに至つるのである。

前掛に種々の様様を染め出した般端は、何時頃であるか分らないが、寛政文化頃既に美しい前掛を纏て居る婦女子を観見受たとの古老の物語りから考へると、以前より行はれたものに相違なく、河内

前掛の由來（うきさき）
又、大阪の薬業女も、赤前掛を腰に纏ひ
しものと見え、
「好色二代女」に、「難波の浦は日本第一の
装飾の方に傾いて來た、夫が説教には上
行きと平常と二通りなくては足らぬとい
ふ。よけに取てあるからには、勘して桂
などには用ゐなかつたに相違なく、外附
同様實用に重きを置て節裁には殆ど
構はなかつたのである。

て於に會進共二五念紀旋凱
す領受牌銀歩淮



<img alt="A vertical advertisement for 'Kurayoshi' perfume. The top part features large stylized Japanese characters '久遠宮妃殿下御買上' (Imperial Gift to the Empress Dowager) followed by 'クセ久遠宮妃殿下御買上' (Kurayoshi). Below this is a large, bold character '香'. The bottom section contains two columns of text: the left column reads '○○ 芳香耐久、美顔ノ三能優絶眞に香水用
自賞は取るに足らず本品は試用諸君
なり' (Fragrance that lasts, beauty face three abilities excellent truly perfume
self-praise is taken enough not this product is trial use various people
narrative), and the right column reads '長多久遠宮妃殿下御買上' (Kurayoshi).

松井號支店

營業品目

發賣元
バスター石鹼

脇田盛眞堂

東京日本橋區橫山町二丁目十二番地
花王白粉本舗半減送料共金四拾五錢
送料金十錢

バスター石鹼大改良發賣ニ際シ
偶々東京勸業博覽會開催ノ好機シ
ニ得テ幸ニ該第二會場機械館内好機
シ之レガ紀念トシテ意匠優美ナ際
廣告日除ケ(西暦六月)
彦御引立ノ厚キ感謝ニ堪ヘザル所
ナリ是ニ於テ今ヤ時下向暑ニ際
スルノ純良芳香ノ非凡且實用
シハ以テ諸彦ノ便益ヲ謀リ
以層ニ擴張セントシ實價ノ半額層
陸續御用命アランコトヲ
乞

特別廣告

各時代に時勢相あるが如くに、四季各々
に季節用品の存するは自然の數なり。
夏季は涼りぬ、夏季の用品は何ぞといは
ば、防汗防臭最も必要なること、衛生上よ
りいふも、よりいふも、必ずこゝに
歸着するなり。

然れば此ち何を用ひてこれが必要を充た
すか、即ち化粧品の優良品を用ひるに在る
なり、その効は以て汗を防ぐに足り、その
香は以て臭を防ぐに足り、あり、
されば毎年夏季に於ける化粧品の需要増
加すること頗多なるは、年を逐うてその率
に快から。

然らば此ち何を用ひてこれが必要を充た
すか、即ち化粧品の優良品を用ひるに在る
なり、その効は以て汗を防ぐに足り、その
香は以て臭を防ぐに足り、あり、
されば毎年夏季に於ける化粧品の需要増
加すること頗多なるは、年を逐うてその率
に快から。

化粧品全盛時季

を高ひ、知るべし文明社會の夏季は、化粧
品全盛の季、ならざるべからざることを、
當業者それぞれに應するの準備なかるべか
らす。

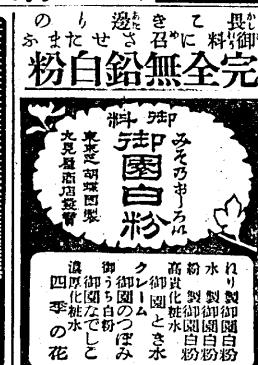


意匠
商標
新規
及定
鑑
稻木繁次郎
特許代理業者

香油、煉油、白粉石鹼化粧品問屋
東京日本橋區
よし屋卸賣店

二等賞牌
を受領す

ハチ印靴墨
クリーム及
東京博覽會に於て
名譽にも獨り



東京貿易博覽會
一等賞牌
シカゴ
ムヤゲ
はみかき



謹告
一等賞牌
を授けられ意外の榮譽を感じ候處退ひて考ふるに問屋
諸君の出品中にも精良の品多くなからく、弊舎の製品のみ如此優
賞を受くる資格は無之是全く弊舎工業上の経験等に因れる理由
と愛顧諸君の御引立に依るものと深く感謝仕る處に候間爾後一
層勉勵名實相叶ふ様注意可致候に付倍舊の御用命偏に希上候
一
芳誠舍
支配人 鈴木保々誠次郎
鈴木吉
敬具



關理代西
大坂藤森源助
本舖安藤井

定價宣傳部 金參銀
壹ヶ年 前金壹此
一粒 特別廣告金六拾錢行數回數割引なし
印刷人 武廣和維
發行所 東京化粧品卸商組合事務所

東京勵業博覽會

壹等賞牌受領



チエリーポマード

●畏各宮殿下御用
(佛國巴里府ハートプロス會社製造)
輸入元 東京高橋
日本特約店

田中花王堂
佐々木玄兵衛
柳下藤五郎
森庄助西店



名譽金牌受領
第四回帝國五一品評會に於て

麝香后
代理店 小林ライオン店
神戸鳴行
持電一五二
東京
横山町
元野穂立郎



純白浮石鹼
化粧用

定價 金八錢五厘

販賣

大坂鹽町通馬頭町
大坂東區博勞町
英國ホルツサンズ本店
レバー兄弟商會

東京日本橋區馬喰町四丁目
本組合員日本橋區馬喰町四丁目宮本庄七氏より既に昨年以來
の發賣に係る實用新案登録兼用襟止を本組合員某氏が是を來
差違候事本組合の定款に基き役員の調停にて同氏も寛大に實讓せら
れ共に本件の如き物の發生せざらんと御認の節は斷然御取扱來苟も特許
及同業者諸君に御通知申上候也。

明治四十年六月十日 組長 大西榮輔

高評石鹼

粉と
煉製の
二種あり

磨牙シオラ

海上、口漢、津天郎次富林小阪大、京東



定價 (水同様)
一小瓶一個
三十五銭
二十五銭

完全なる無鉛おしろい

千代田おしろい
は衛生化粧とを完備せる進歩的おしろいにして無鉛無毒性なる事
は内務省衛生試験所の證明せらるゝ處なり
は皮膚に有効なる特殊の齊料を配合せる以て肌に乗り能く寒さの時
にも荒れる恐れなきが故にクリーム其他化粧下用するの必要なし

千代田おしろい
は如何なる暑中と雖も剝る憂なく濃化粧にも薄化粧にも自由自在なり
は白粉やけ日やけ等の恐れなきのみならず硫黃質の温泉場にて使用せら
るゝも變化する事なし
千代田おしろいの香料は最良の花香のみを選みたれば其優秀なる香氣は恰も百花爛熳
たる庭園に遊ぶの感あり

特約
大販賣 横山町
關西代理店
馬頭町
脇田中
花王堂
柳橋本町
柳原川岸
支店
小福柳
下
林井甚五
郎藏郎
銀橫山
町
小三佐天
林輪野
善木玄
支
大坂東區
博勞町
大和屋
小兵衛
店

山岸三之助
横山町
馬頭町
通馬頭町
大和屋
小兵衛
店

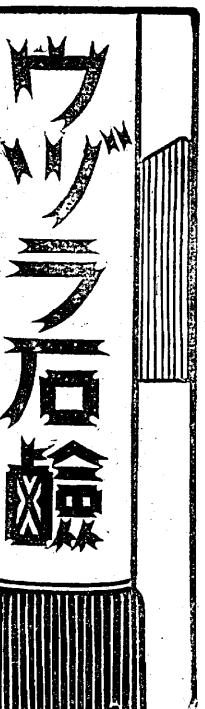
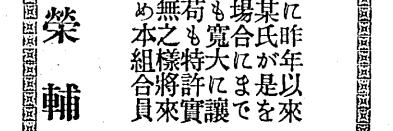
横山町二丁目
馬頭町
通馬頭町
大和屋
小兵衛
店

聯合發賣元 (いりはん)
本舗 柳原河岸
同支鋪 清國天津
同 同上海
小小小小
林林林
洋洋洋
行行行



時代の要求により生れたヨガメリヤ
は色白くきめを細かに艶を増し肌を
滑かならしむる最新最良の洗粉なり
年若き方々のみならず老年の御
肌には殊に効驗著し

定價 大瓶廿五銭
袋入五銭
瓶入十二銭
小袋三銭



品出會覽博業勵京東
領受牌賞るあ譽名

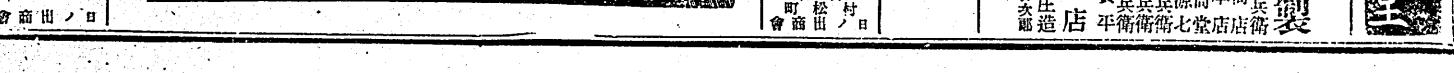
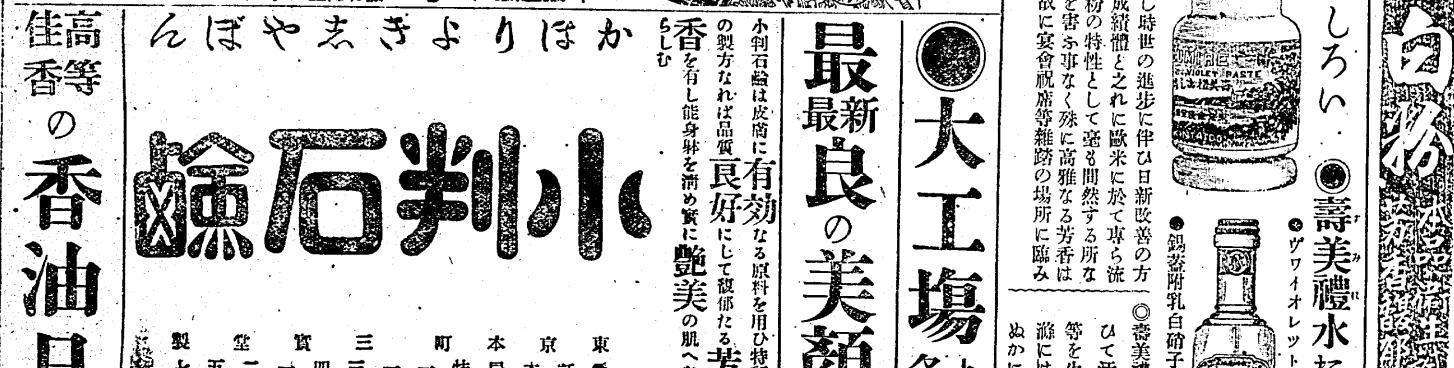


東京勸業博覽會

鑑評 紛々の裡に在りたる東京勧業博覽會に於ける品點數は、その審査を終了して本日六日に妻賣場にて開會する、その審査の數は七千九百九十五人なり、之を出品人員に對比すれば五割三分四、出品人員一萬四千八百七十六人、出品點數九萬三千七百五十四點にして、受賞の數は七千九百九十五人なり、之を出品人員に對比すれば五割三分四、出品點數に對比すれば八分四に當れり、吾人は博覽會が工商業の發達進歩の迹を觀るに不可離の標準たるべき査定を與へらるべきを望むと、も、また當さに然らざるべからざるものなるを信じ、此の比例を以て取て少しと不するものにあらず、また固より以て多少と不するものにはあらざるる、之を地方的經營に係る共進會等に於ける總額的授賞に比して、大に信頼するに足るものあるべきを疑はず、而かも千慮の失、或は個々に就いては、多少の異議あるにあらずと、是等の事業に免る、こと能はざるものなれば、多少の異議異論は、直ちに完全無缺ともいはず、たゞ神ならぬ身の缺くる所あるを怨するのみ、是を以て受賞せるもの、ともにその賞の等級を須らく其の製品の進歩をこれ期し、博覽會又は共進會の賞牌以上の實質を社會に確信せしむれば、その褒賞何ぞ高下を問ふの要京に於ける實業界を鼓舞し、来るべき大博覽會に目覺ましき進歩を呈示するの動機たるるべからざるを望むるのなり、是れ吾人が切に業界に對して望む所の大本なり、一貫以て蔽へば、東京博覽會を踏臺として來るべき大博覽會に雄飛すべしといふに過ぎざるなり

東京勸業博覽會

受賞一覽



其の他袋物一式
右各種大勉強仕候間多少
共御用命願上候
但し前金を要せむ荷着之事
東京市横山町一丁目十四番地
中庄 製造元 杉谷庄兵衛

裂地革類
袋物問屋

針問屋

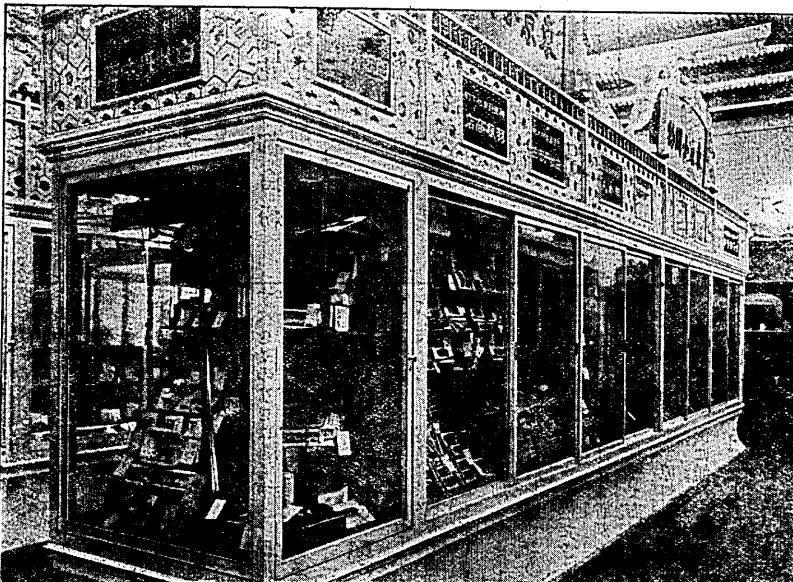


組合錄事



は、いかにして彼等西洋諸國と相抵抗すべ
きか、彼等はその富庶を本國又は各殖民地
に有し、漸く以て清算の市場に臨み、我が
帝國の最も力あるべき市場を壓倒しつゝあ
る現状を見ては、誰れか切歎せざらん、誰
れか嘆腕せざらん。
然らば則ち帝國の掠りて以て富庶となす
もの、取りて以て彼等に對抗すべきものは
何ぞ、近く之を我が石鹼化粧品業に就て
の原料輸入税の増加せらるゝに當りてや、

東京小間物商同業組合出陳區



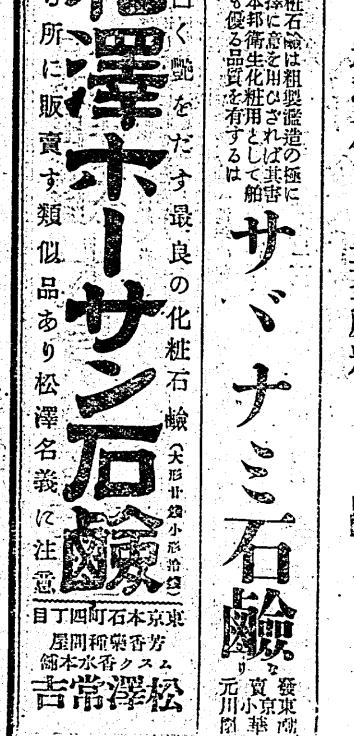
巡遊所感

せんか、原料を彼に取り、加工して以て彼に賣るに在り、而して之れが簡易にして有利なる方法としては、直接に原産地より輸入するに在り、子の觀たる所を以てすれば印度は東洋の富源なり、我が振りてて事と爲すに幾多の利便あり、行儀當て孟買よりカルカッタに至る、極目法として歐洲平野を行くの感あり、満野の草木は椰子、亞麻、チーク、楠等の特产品にして、見るか



巡遊所感

For more information about the study, please contact Dr. Michael J. Hwang at (310) 794-3000 or via email at mhwang@ucla.edu.



て於に會進共二五念紀旋凱
す領受牌銀歩進



平尾 賛平 佐野 小兵衛
田中 吉兵衛 淺井 支店
仲徳 次郎

市內特約店

製造本舗 東京西條
官業品畧目

乃木ムスク石鹼は品質の善良なると芳香の佳良なるは一度使用せし人の
忘るゝ能はざる所なり
又其の一個毎に大は一錢小は五厘に引替得べき包紙を添付し有るを以て
特色となす

日本は工業國

歐米巡遊

謹啓各位益々御隆昌奉賀候陳者弊店に増し繁榮にて起居に幸むる一過の出陣磨の儀各位の御同情深き御引立に相應る。候段弊の千萬感謝する處に御座候。今よりを盡り御販賣上に御便宜と相成様可仕儀間何卒倍倍の御禮の爲め左記の通り景品呈進候。乞う御参考願ひ。此度は

政府當路者のいかに商業の實情に暗くして、國家の大本を據るの底れありしと慨嘆したりき、何となれば、日本帝國は農業國にあらずして工業國たるべき天職を賦せられつゝあるが故なり、

日本は工業國

苟くも目あらんものは見て知らん、耳あらん者は聞いて知らん、各種の原料の日本に産するもの幾何ぞ、たとひ多少の生産あるにもせよ、土地の狹少なる、人口のますます增多すべき國勢にして、地を盡する所ほどの需要を充たすこと易からざるべき現状に於て、繁殖すべき植物、殊に樹の如き、香草香木の如き、この產額いかんぞや試みに編んでて見よ、印度の綿は大木に生ずるにあらずや、日本のそれの如き草にはあらざるなり、香料はいかん、一も用に供すべきものなきにあらずや、印度に椰子を見たらんには、蓋しあわせざること遠きの憾みなきを得し。

各種の原料既に此の如し、農によりて得べき國益は言ふに足るものなし、然るに人は技巧に長じ、人の長を取りて短を補ふに勇なる日本國民は、原料を多く産する外國より輸入し、之に工を加へて海外に出さば、その技巧彼に譲らず、原料また彼よりも高からざるが故に、優に競ひて勝を占むるの成算なきにあらざるべしと、

今日の急務として日本の工業國たることを自覺するともに、工業國たる企劃なからべからず、これ獨り子輩の相共に屬み、勉むるのみならず、政府當局者も亦子輩を勵まし廻めしむるの策なかるべからず、香料輸入税の低減の如きは、まずその初一步のみ、

歐米巡遊（その十三）

本組合理事 佐々木玄兵衛若談 太西洋航路

轉じて太西洋航路に移りますと、世界には種々の海上に於ける旅行があつて、それの趣味と特色とを有して居ますが、中でも最も選擇な旅行といへば、太西洋航路であります。

今日太西洋航路の經營者たる大會社とれば、英國のキューナード、ホワイスター、獨逸のロイド、ハンブルガーメリカ等の大會社で、その船舶の大きなことは、之を船といふよりも、寧ろ海に泛んで居るホテル——しかも大きなホテルといふのが適當にして居るでせう、それに各船の頭數は、年々増加する一方で、驚くべきは一年年まで争して増大することの甚だしいのは、大體こんな勢であります。

それで等の船は果していかなる大きさであるかを證據立てるには、英國のキューナード会社のカルメニヤ號を見て知ることが出来ます、此の船は船室が五層樓になつて居まして、之を上り下りするのに、一等船客の専用に供する昇降機が八個あつて、食堂も一時に八百人を容ることの出来る大きさなもので、料理店あれば、カツフエーカーあり、花園などあるといふ設備です、私が乗つた船は、エトリヤ號といふ八千太西洋の上に泛ぶ船の中では、此の上位するものゝなかつた、唯一の大船でしたが、今日ではまた此れ以下の小船はないのです、速力が十八ノットに過ぎませんが、その船内の設備に至りまことに完全してゐるので、日々船中で活版印刷の新聞が發行さ

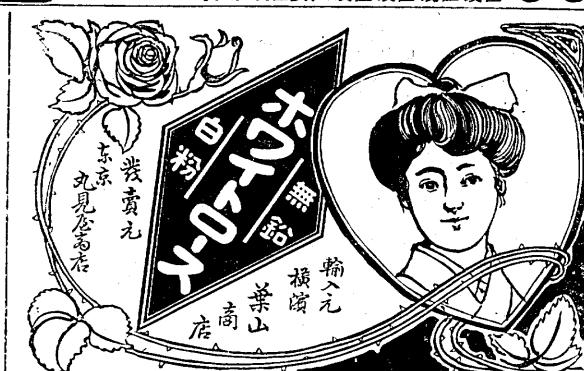
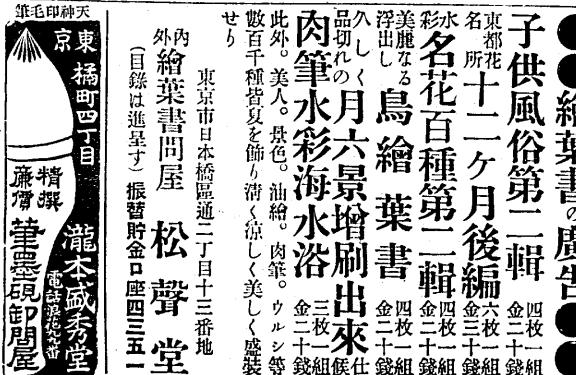
東京業勸覽會等一賞牌



佐々木商店
金杯競争のメ切
期日は切迫せり



金杯競争のメ切 期日は切迫せり



東京勸業博覽會に於て褒狀受領
花ムスク石鹼大景品附發賣廣告

平素の御愛顧に報せんが爲去る六月十五日より花ムスク石鹼石油詰め一箱に付き左の景品添附し販賣仕候間御便宜の取引店へ代金相添御用命之種願上候。

大形 小形 十六打詰 一箱 三十五打詰 一箱 取合 大形五甘打詰 一箱 小形廿五打詰 一箱

右の景品一箱毎に進呈仕候

景品 石膏細工床間店頭飾置物 繪はがき(切手貼用) 一 個

發賣元 東京市神田久右衛門町 三十枚

大野金城堂



夏休中の心得

頭の垢をためぬやう
擦り剥き傷はよく洗ひ
包むはベストの要心ぞ

朝寝夜更かせぬやうに
視習肌脱ぎ皆盡さ

夏の休みに成しました
夏の休みに何に爲ました
朝は早く起き顔洗らひ
拭く拭く掃除の御手傳

二

目上の人の命令は
素直にきくが良いお子よ
言ふ事きかず世話やかす
お子は悪い子いけない子

三

本や算術其他の
習ひ覚えた事は皆
涼しい間にさらひを
毎日極めてするが良い

四

喰べるご飯

夏は少しく
控へ目に
三度の食事
その他に
間食などせ
ぬが良い

五

朝夕運動よ
なよ
く勤め
遊を
ぬい遊や
い子怜憐な
足や身體
を奇麗にし

東京

博覽會

參觀會に於て獨名
以て來る萬國大會

博覽會

品と優劣外

名譽金牌

を受領せんと欲す乞

御引立有志諸君聲の所

六年

創業

明治

東京市

淺草二區

諒町

松崎

靴墨

製造所

會覽博業勵京東

牌賞一等

象印

シカゴ又やけ

はなかき

校に復來て勉強致しませう

(小川小學校長作)

葉だなら風も涼しくな

るだらう身體丈夫で學

寝冷へせぬやうするが良い

の如く、彼の品は彼の如しと表明するに反

の新化粧品の進化は、牙籠の推算に

一新したるの觀あるは、何人も知する所

なり、就中化粧品の進歩は、

社会の進歩に伴ふ風俗の變遷は、小間物

化粧品に推移を促がし、日新的の形狀、日新

の製品を出さしめ、近く數年の間に面目を

進歩といふ中に含まれる、意味の事實は、小

間物に於ても亦見得らるるにあらずや、種

類の增多が化粧品の進歩ならば、小間物の

種類も亦既に增多せるにあらずや、その品

の改良と製法の技巧とが化粧品の進歩な

にあらずや、然れど世人が見て以て進歩せずとなす

ものも亦一理なきにあらず、化粧品は一製

品の出づる毎に、改良の施さるゝ毎に、

或は又從前通りなるも、怠らず商業發展

の機関たる新聞雜誌に廣告して、此品は此

の如く、彼の品は彼の如しと表明するに反

のふまた白鉛無全完

粉白鉛無全完

</div

粉と
練製の
二種あり

高評石鹼

壹等賞牌受領

海上、口漢、津天郎次富林小阪大京東

初櫻白粉 東京製造

ライオン磨面發賣元 横山町二丁目

聯合發賣元 (いろは屋) 大田中、勝田、支舖、本舗、柳原、清國、上海、花王、兵衛堂

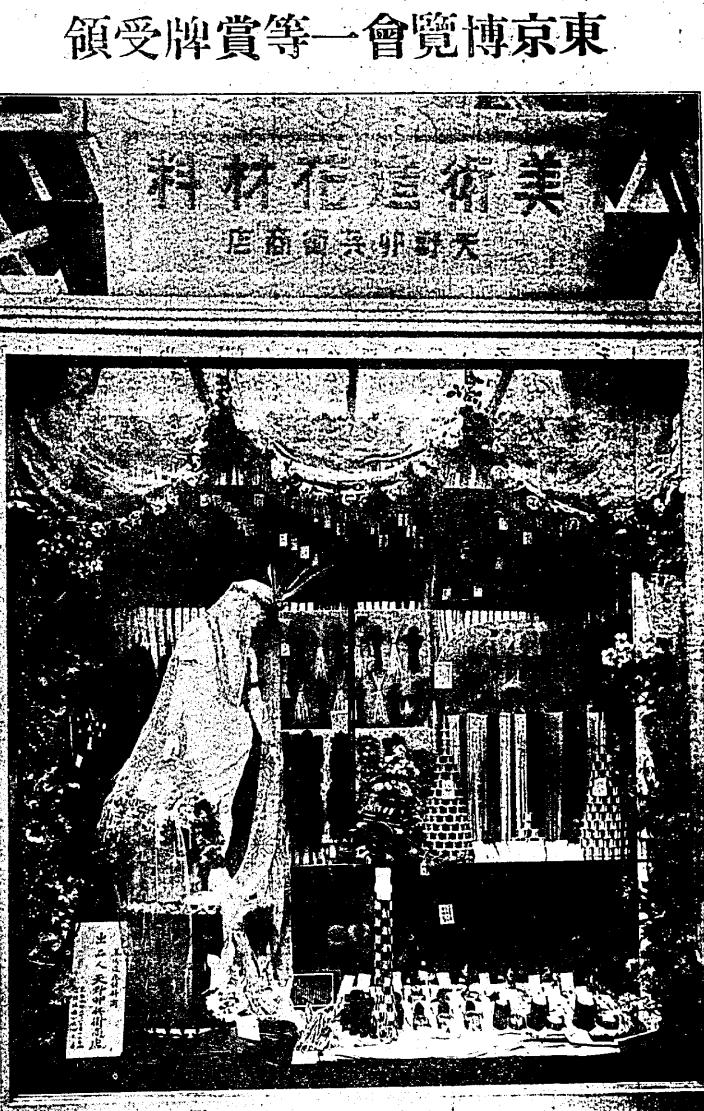
同 同 同 同 同 同 同 同

大銀坂東區博旁町 小小小小林、洋洋洋行、行行行

仁佐柳下藤分五郎店、柳下藤分五郎店、柳下藤分五郎店

時代の要求により生れたるカメリヤは色白くきめを細かに艶を増し肌を滑かならしむる最新最良の洗粉なり。年若き方々のみならず老年の御肌には殊に効驗者し。大瓶廿五錢袋入五錢、小袋入十二錢。

Camellia T.KOBAYASHI & CO.



天野卵商衛兵

地番六十目丁一町山横橋本日市京東

番三四六一花浪話電長

番〇七九四座口金貯替振

候度下被込申御取扱告廣本ばれな用ノ御内案業營

日本政府登録商標



發賣元 山田篤三



大工場各と
鑛山

の怪不にて
他我時ての其は

應急

各に爲の

工

らに工夫

等必

アルボース

を携

しむ

意匠登録 いろしお玉



本店

西田嘉兵衛

商店糸半 西田嘉兵衛



博覽會紀念

(實價大割引
販送料六錢)

日

よけのれん

丸月石鹼

貳號 芳香入

東京本所綠町 芳誠舍

◎一號は品質純良一度使用すれば麝香スミレの匂ひ數日身體に薰り香水の代用を爲す
◎二號は形甚だ大芳香馥郁として化粧衛生經濟を兼備せし佳品なり

時評
組合錄事

明治十四年七月廿一日 (第三種郵便物認可)

●米國に於ける排日競争は未だ必ず折衝の任に在るもの何を爲しつゝあるか晝眼から醒めて速かに一刀兩斷的決快と與へよ至屬の韓國をタ方才き出でて韓皇逃亡を企て開闢院を以て領土を守護するの如く表せらるゝを承知して當にならぬ韓國速かに不宣實行をなすが唯一の捷徑也

●韓國日佛の協約成りて兩國上下の祝意は遺憾の如く表せらるゝかも祝するを知つて祝するの如く忘れるもの兩國に幾何人かあるか

●兩陛下兩殿下行幸賀ありて博覽會は時雨に沿したる如く怕々乎たりしもの驟かに是氣つきたり博覽會たるもの聖恩に酬ゆべし

●審査の不公平は受くる例よりへば多かるべく與ふるものよりいへば公平なるべく此の間の真相は神ならぬ以上斷案を下し難し

●神ならぬ審査官しかも慾の深い人間がながむにせずして貴重で争ふが最も良き手段也

●我が皇室の實業に大御心を傾けさせ給ふることの深きは實業家の感激に堪へざる所なりに對して吾人の奮勵すべきは國民の任なり

●審査に不平を抱くはざることながる人々が區々偏頗なるは固よりのことといふべし

●美術家が博覽會の審査によつてその異價を定めんとするは愚ならず知る人ぞ知らんばこそ不平もあざなくば知る人ぞ知らんと超然構へて居るが美術家の貴い處ならんとも共に美術の眞價を知らぬからの事なり

●獨逸は山東省に於て日本品の跋扈せんことを恐れあらゆる陰險の手段を講ず與翁分をいはんか意地なしといひんか憐るべき也

●日露の協約も近く成らんとする事あらば戰表す人間ならば獨り桑港會議所のみならず所謂毛唐といへる外人の動物以外は皆然り交りぞ知らず彼にこの眞情ありやなしや

| |
|--|
| <p>○七月十日 組合新加盟店 營業所 京橋區銀座二丁目一番地 商號 胡蝶園</p> <p>氏名 安達覺君</p> <p>右新規加盟店せられたるを以て組合員名簿へ登録す</p> |
| <p>○同十一日 東京實業組合聯合會主催の博覽會行幸紀念日佛協約成立祝賀會提灯行列本組合參列心得を作り提灯マツチ蠟燭の引替券と共に參列申込の組合員へ配布す</p> |
| <p>○同十二日 東京實業組合新加盟者 營業所 日本橋區馬喰町四丁目廿三番地 商號 大倉商店 氏名 大倉廣吉君</p> |
| <p>右新規加盟店せられたるを以て組合員名簿へ登録す</p> |
| <p>○同十七日 組合新加盟店 營業所 日本橋區馬喰町四丁目廿三番地 商號 大倉商店 氏名 大倉廣吉君</p> |
| <p>右新規加盟店せられたるを以て組合員名簿へ登録す</p> |
| <p>第一等 水晶おしろい廣告</p> |
| <p>六月二十一日 六頁掲載</p> |
| <p>七十點 佐野小兵衛君</p> |
| <p>七月十一日 二頁掲載</p> |
| <p>第二等 象印はみかき廣告</p> |
| <p>四十九點 安藤井筒堂君</p> |
| <p>四十七點 腸田盛眞堂君</p> |
| <p>第二等 花王石鹼廣告</p> |
| <p>四十五點 ダイヤモンド 七月一日 七頁掲載</p> |
| <p>四十七點 長瀬富郎君</p> |
| <p>七月十一日 十二頁掲載 平尾贊平君</p> |

（新潟戸籍課老練）
去十六日の實業家子弟歡迎會に於て新渡戸博士は商人の子弟に取らるも適切なる報告と興へたり今其の電車に乗る心得の一部を左に録す。
電車と云ふものは日本では尙だ新しいものですから夫が爲め電車に乗る人の心得と云ふものが缺けて居る様に思はれる例へば煙草を飲みな、太股を出でぬ、痰唾をするなどと云ふ三個條は守つて居る様であるが、此三個條以外の事なら何をしても可いと思つて居る人がある様だ、即ち嘔吐をしたり欠伸をしたり腰を振げたり、手鼻をかひ人がある、嘘などは出物體所嫌はずと云ふ人があるから知れぬが、外の人が迷惑になると云ふことを遠慮なく遣ることは宜しくないから、慎まねばならん此の世の中は皆と一緒に旅行をするのであるから皆と共に愉快な旅行をする公徳心がなければならん。
昔支那の孔子様は人間と云ふものは門を出れば直ぐ禮式と云ふものがあると云はれた所が日本人の人は電車などには今迄餘り乗らなかつたものだから彼の三個條の外の事なら何をしても可いと思つて居るのは、怪しからんことである。

組合錄事

四十一點
花王白粉廣告

日佛人共同事業計畫

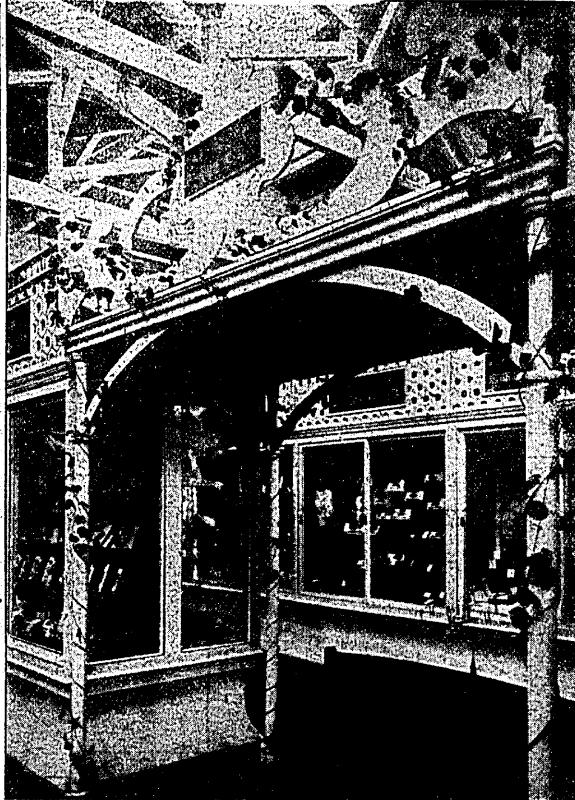
電車に乘る心得

新漢戶程造君酒

評判記

平尾賀平商店の發賣にかかる乳白化粧水レートは好評噴々効能顯著なりとて神十淑女に愛用せられつゝあるが此種の化粧品を好んで外國人は自國の製品よりもこのレートを愛用するに至り横濱神戸等の在留外人は勿論今や海外にもその輸出を開始するに至れりといふ

●君が代香水の競争激甚



●蜂印靴墨の勉強
漢京區頭防町なる松崎商店にてはその製造の蜂印靴墨が三等賞牌を受領したりとて來る大博覽會に於ては名譽金牌を受領すべく勉強すべしといふ。

●オベラ香水的好評

鳳舞園發賣のオペラ香水は歐米流行的香水製法を研究し苦心の結果に成りたるだけある

孔雀リボンの發賣
孔雀リボンは大流行品にして群中の極美の中の極美たる好個の逸品なりとて東京小間物卸商各店に於て特約販賣するに至れりとなるものあるべし。

●スワン白粉の發賣

脇田盛真堂の發賣にかかるスワン白粉は最新の製法を用ひ完全なる無鉛白粉にしてのりのびのよきは勿論無鉛白粉としての缺點は少しも止めざる逸品なりとて同店にては之を發賣する

●千代田白粉の發賣

山岸三助氏の發賣にかかる千代田白粉は衛生と化粧とを完備したる完全な無鉛白粉なる上に皮膚に特効ある糊料を配合し香氣も佳良に品質も完全なる逸品なりといへり。

●洗濯用玉川の好評

日本橋尾本町三丁目なる玉川は一名をシャボンライズとまでいひて猪口一杯を用ひて上流に賞讃せらる高麗紙に愛用せられており花柳界に愛用せられ今や進んで清潔さなるより各販賣店は今やその競争の激化冠たるゴーレンカンブは果して誰が手に落すべきか吾人は来る八月一日の結果を待つものなり。

●バスタ石鹼の盛況

脇田盛真堂のバスタ石鹼は需要量に於て實地製版の結果その眞實を認識せられ盛に販路の廣まるたるは人の知る所なる其後はたゞ擴張の方にて製造に遂は

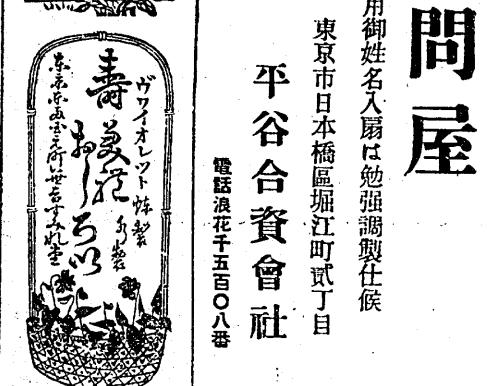
るばかりの盛況を極めてあるよりこに日よけのれんを提出して貢價の半額にて別べしとひる。に日よけのれんを提出して貢價の半額にて更にし實用新案の登録を受けたるものなれば好評は非常にして各地に普及してゐるよりにその發賣法を擴張して東京京都大阪名古屋等に發賣元を設くことなしたりといへり同品の盛況はこれにて察するも大なるものあるべし。

扇問屋

御進物用御姓名入扇は勉強調製仕候

東京市日本橋區堀江町貳丁目

電話浪花一千五百〇八番



男女ノ毛髮
容貌美御料力スガオイル

ス加増ナ

鹿

ハハ

白く艶をだす最良の化粧石鹼

○色

白く艶をだす最良の化粧石鹼

○白く艶をだす最良の化粧石鹼

店約特

風

い

の

風

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の



小判石鹼

小判石鹼は皮膚に**有効**なる原料を用ひ特製の製方なれば品質**良好**にして優れたる**芳**香を有し能身体を清め實に**艶美**の肌へなす。よし。

造製本舗
山崎屋
（電略下名二七三五）
日本橋區横山町二丁目
特販賣同同
勝田盛眞堂
同同
大和屋
柳下藤五郎
區馬喰町三丁目
田中王堂
區福町四丁目

怒
又
沙
海

ませんが、私は一體米國に對しては、先づ云々^て的^てに面白く思はない一人ですから、或は極端な説^{せき}^{せき}に走ることのないとも保し難いのであります。

ホテルもワルドブアスドリヤなどといふ一時
間に二千人の客を宿泊せしむる大規模のものがあつたとして、そして他のホテルでは目立つてゐない特色は、食堂が四つあることの出来ない特色。

喜無

登録商標
MOON STAR
TRADE MARK
WASHING SOAP
NAGASAWA FACTORY

近來洗濯石鹼の完全なる者稀なるが故に
感ぜらるゝ事多し
弊家製造所に於て製造する
印洗濯石鹼は特に原料
種の特造なれば能く垢を去り
の類を洗も決して損せず又
徳用なるは弊製造所の自負す
は幸に御試用あらんことを希
花王石鹼本舗 東京馬喰町二丁目
長瀬

商標登録の必要

(松田商店
販賣
品です、同法

す、の 楚々 長蔵 (二)

三、秋葉又は風俗を蒸り若し世人を欺瞞するの皮肉
四、他人の登録商標又は其失効後一年を経過せざる
のと同一若し類似して同商品に使用せんとする不正
五、此の法律施行前より他に使用者ある商標と同一
くは類似のもの

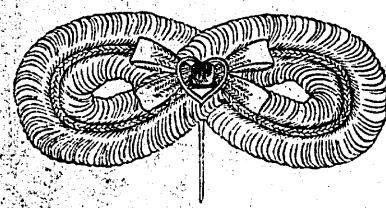
六、商品の普通名稱、地名を表形するの又は其の
位、品質、形狀を誇張上に使用せらる、氏名、
號、會社名若し組合名を普通の意味に依り記載す
る者

七、権利地盤其の他の別部聲明の外觀なるもの

右の各項に就ては多少説明の必要がある
すから別項にて述べる事としませう

▲第一項の御紋章は御紋章に似たもので
一部分になつて居るものでも許さない、
二項の國旗、軍旗、勳章は一部分は許さ
るが全部は許されない、第三項の秩序を
するのとは例へば日露戰爭中戦争に因ん
名稱のものがあつた、征露丸のやうなも
は許したが滅蹟など稱したもののは、許さ
かつたで、又世人を欺瞞することは從來
本では米國の大審とか何とか妄に他人
名を書き込んで世を欺いて何とも思つて
なかつた、之は勿論許さない、第四項他
の商標を許さざる規定に就ては他人が登
したる商標であるや否やはどうする判らぬ
云ふて來る人がある、之を知る唯一の方
は特許局發行の特許公報を見るか、或は
局編纂の商標大全(三十七年十二月迄)、
見るの外はない、公報は毎號各府縣廳、
美會議所、重なる實業團體、同僚車場に
布してあり、大半は公報發行所にて貰て可
るから出願者は之に依り、豫め他人の商
標と假定すれば甲は右と同て居り、乙は左
を向いて居とか又は足か一本足らないことを
象的には言ひ兼るが、例へば象を描いた文
字を知り置かねばならぬ、夫れから商標の規
似と云ふ事です、之は中々面倒なるので付
るから出願者は之に依り、豫め他人の商
標と假定すれば甲は右と同て居り、乙は左
を向いて居とか又は足か一本足らないことを
云のは外觀上の類似として許さぬ事にな
て居る、又に文字で富士と書いたり櫻をな

案新用實



術 美

大流行粹の極粹美の極美眞に好個逸品なり
并
ク
イ
ン
ス
リ
ボ
ン
發
賣

特約販賣店

造 製 瀨 邑

